



一本松まちづくりひろば



発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 米岡美智枝



西戸部二丁目地区狭あい道路

セッパバックし境界から一メートル後退して建物を建ててあります

早くも平成 21 年度の年度末が目前に迫ってまいりました。日頃、狭く通り抜け出来ない道、急な坂道・階段など被災時大きな被害が想定される町内状況にどうにも出来ない焦燥感を抱え続けて来ましたが、今改めてまち歩きをして見ますと、町内に点々と安全な空間を見かけるようになりました。来年度も、更に「安全が確保されたまちづくり」を皆様と話し合いながら進めて行きたいと考えています。平成 22 年 3 月 一本松まちづくり協議会 役員一同



セッパバックして拡張された狭あい道路（羽沢西部自治会地区）



①



②

拡張に向けて検討中の羽沢西部地区狭あい道路①と②



佐藤 光良氏

☆横浜市より一本松まちづくり協議会へ「まちづくりコーディネーター」として派遣されています三人の内の御一人「佐藤光良」さんです。両自治会の状況は住民以上に熟知し、理解していただいている「まちづくり」の頼もしい相談役です。

- 【プロフィール】・1級建築士 ・NPO横浜市まちづくりセンター副理事長
 ・横浜市まちづくりコーディネーター ・趣味 料理 ・血液型 A型
 ・横浜総合都市研究所 代表取締役 ・生年月 1948年1月山羊座
 ・山形市出身 ・武蔵野美術大学 建築科卒業 ・横浜に来て27年



平成21年度第2回検討会が開催されます。

両自治会の住民の方すべてが対象者です。まちづくりのルールについて検討します。住民の皆さんに係る重要な内容ですので是非羽沢山の方のご参加お待ちしております。

検討内容は2面・3面をご覧ください



開催日時 3月28日(日)13時30分~16時
 会場 一本松小学校図書室
 スリッパは小学校からお借ります



平成16年夏 勉強会開始

平成18年夏 協議会設立・計画づくり本格化



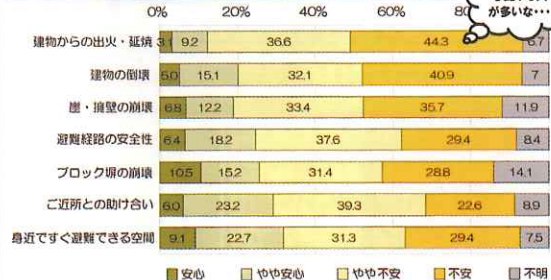
西戸部の問題点は？

平成18年秋～冬 まちの中を再点検



消防車は入って来られるかな？

平成19年冬 アンケート①を実施



出火・延焼を心配する人が多いな...

西戸部町地区の『まちづくりのルール』を一緒に考えましょう！

『ルールによるまちづくり』も必要です！

電柱が道路の中央に残ったままに...

せっかくのすみ切りに自転車...

敷地が細分化され、隣棟間隔も狭く、建て詰まりに...

8割以上が木造・防火木造、道路が狭く空地が少ないので延焼しやすい...



写真出典：神戸市広聴課発行「震災9年～神戸の記憶～」

今、西戸部町地区には有効な『ルール』がありません！

『具体的な事業の取り組み』を進めています！

- ・昨年4月には、道路・広場整備等への国と市からの支援が決定しました！
- ・雨水タンク設置、防災弁整備等にも取り組んでいます！

平成20年夏 「防災まちづくり計画」策定・市より認定

詳しくは、「一本松まちづくりひろば7号（平成21年10月発行）」または役員まで

平成20年春 計画（たたき台）のアンケート

プラン1～プラン15まで多くの支持がありました。

（70%～90%が「よい」と回答）

平成19年春～冬 計画の中身をじっくり検討



アンケート結果からすると...

避難路や消防車の通る道はどうかかな...？

災害時の状況や行動はどうなるだろう？

総まとめ・総点検をしよう！

「防災まちづくり計画（素案）」作成

昨年11月22日

墨田区の「NPO法人雨水市民の会」の皆さん15名が見学に見えました。西戸部公園の雨水タンク、雨水を貯めた地下タンク+手漕ぎ井戸ポンプ、まちかど広場の貯水タンクの仕組みなど大変に興味深く見学されていました。説明にもかなり熱が入りました。



NPO法人雨水市民の会の皆さん。2つの自治会内を一時間半かけてみて回りました。厳しい山坂の連続に皆さん手ヨットお疲れの様でした。



12月20日(日) 西戸部町の山坂の地形に驚き、崖の高さに恐怖を感じた方もおられました(蓮田は平らな地形にあります)。心に抱いていた横浜のイメージとかなりのズレがあったようですが、そこに住む私たちとは心通う共感を感じて貰いました。西区の担当者に市、区、両自治会の資料を準備していただき、双方にとって有意義な意見交換会・相互理解の場となりました。

埼玉県蓮田市自治会町内会長の皆さん。防災まちづくり研修会で意見交換

昨年12月9日

世田谷区若林3・4丁目地区を、役員、市職員、支援スタッフ等総勢15名で見学しました。若林3・4丁目地区では、平成12年に地区計画を定め、ルールによるまちづくりに取り組んでいます。



ここは、かつて水路だった場所、沿道の方が庭の延長として使用していました。地区計画策定時に地域の避難路に位置づけられました。現在は、「緑の小道」として整備されています。



ルールでまちの体質改善に取り組む地区を見学!

主要な避難路では、消防車がスムーズに曲がれるよう隅切り整備されています。



編集後記
二十一年度、二回目の「一本松まちづくりひろば」が発行出来ました。会員の皆さんの智恵をお借りしたり、他地区の事例を参考にしたりした活動も、少しずつ成果が見える形になります。お互いの勉強見学会も盛んに実施されています。一人では出来ない、大きな力を感ずけています。これからも地道な努力を惜しまずに一歩一歩
役員一同



世田谷区役所職員、地域の皆さんに、苦労した点等もうかがいました。